

# 田辺かずき 県政報告

福岡発！ただいま  
政治刷新中！

第54号  
2018年11月発行

<田辺かずき事務所>  
〒811-3103 福岡県古賀市  
中央 1-6-41-203  
TEL : 092-692-8510  
FAX : 092-410-7730  
メール : challenge@tanabe-kazuki.jp

【裏面もあります！】  
■食育・地産地消推進  
■スポーツと国際交流

## ソーシャルワークの導入を提起 包括的な相談支援体制の構築を

県議会議員として9月定例会における決算特別委員会の審議（9月28日～10月11日）について報告します。

審議の中で、私から県に対し、市町村の地域課題を解決するために「ソーシャルワーカー」の任用を広げていくことを提案しました。全国の地方議員の仲間とともに慶應義塾大学の井手英策教授（財政社会学）から学んだ視点です。こうした提案は福

岡県議会で初めて。古賀市をはじめ県内市町村を後押しする意図があります。

総務省の研究会が、住民生活上のニーズに民間の力も活用して対応するため、社会福祉士や精神保健福祉士といったソーシャルワーカーが組織的に仲介する機能が必要とする報告書をまとめました。現代社会の課題の主体が、高齢者や障がい者、子ども、生活困窮者、外国人など多様化する中、様々な課題を解決していくため、医療、介護、保健、雇用・就労、住まい、教育、防災、環境、多文化共生など多岐にわたる分野で取り組みが求められており、市町村の現場で「包括的な相談支援体制」を構築していくため、

ソーシャルワーカーの配置を進める必要があります。

私からは、全国市長会の研究会が新たな財源論として提言している「協働地域社会税（仮称）」の考え方も紹介。税收を地域コミュニティ機能の強化に充てる、つまり公共交通やコミュニティ拠点の運営、安全安心の確保や助け合いの仕組みづくり、そして人材の育成・確保のための経費などが想定されています。

県は、私の提案に対し「今後、ソーシャルワーカーとしての知識や能力を有した行政職員が増えていくことは『包括的な支援体制の整備』のために大切」と認識を共有。そのうえで、「全国市長会の研究会が提言している『地域コミュニティの様々な公共的活動への支援』に限らず、子育て支援、障がい者福祉、医療、



決算特別委員会では理事も務め、会派間の交渉を担った=10月10日

介護といった社会保障の充実に必要な財源を確保していくことは、安心して生活していくために重要。今後、さらに財政需要が増加していくと予想されることから、知事会において、この研究会の報告を受け、地方の福祉に関する財政需要の実態に即した議論をしっかりと行っていたいただきたい」との考えを示しました。

私たちが高齢者になっても安心して住み続けられる地域を作っていくため、医療と介護の連携や健康づくりの推進はとて重要で。そして、市町村が取り組みを進める地域包括支援センターは

その要。今回の決算特別委員会ではセンターの強化もテーマに設定し、質問に立ちました。質疑では、私から市町村の地域包括支援センターにおける社会福祉士など専門職の人材確保について、確実な財源確保を国に求めるよう、県に提案しました。県は専門職の適正配置の重要性を共有し、取り組みを約束。高齢化の進展に伴う需要の増加に対応するのは市町村の重要な責務であり、県は市町村を全力で支援しなければなりません。

田辺の政治活動を  
連日発信中！

田辺かずき で 検索

- ブログ <http://ameblo.jp/tanabe-kazuki/>
- ホームページ <http://www.tanabe-kazuki.jp/>
- facebook <http://www.facebook.com/kazuki.tanabe>
- Twitter アカUNT @tanabe\_kazuki



県議就任以来、本会議や委員会で質問・提案を続けてきた  
=10月2日、決算特別委員会



# 子どもの食育・地産地消を推進 — 調理実習への導入で成果

食育・地産地消の推進策として、県内には調理実習で県産の柿の皮むきを体験している小中学校があります。実は2013年10月の決算特別委員会で、私から「調理実習で県産果実を活用し、『食べる』と提案し、試験的だった取り組みに発展を」と提案し、試験的だった取り組みが14年度から本格的に実施されるようになった経緯があります。

県議会9月定例会の農林水産委員会では、私から事業の成果を質問。県の答弁によると、17年度は49市町村の263校（児童数2万6963人）で実施。地元古賀市内では14年度以降、小野小、古賀東小、古賀西小、千鳥小、花見小、舞の里小、古賀特別支援学校で取り組まれています。

県には、子どもたちの感想として「難しかったけど、自分でむいた柿は特別おいしく感じた」「福岡県でたくさん柿が生産されていることを初めて知った。これからも柿を食べたい」「家でこの体験を話すと、やってみてと言われ、むいてみると上手にできておもしろいと言ってもらえたので、うれしかった」などが寄せられています。

私が5年前の決算特別委員会で質問した理由は、「次世代を担う子どもたちへの『食育』は農とともに歩んできたわが国の国柄を伝え、永続していくために

## 2019ラグビーW杯が迫る！盛り上げましょう！



JR博多駅では本物のトロフィーも展示＝9月29日

福岡も試合会場となるラグビーワールドカップ（W杯）の開催まで1年を切りました。地元の古賀市もW杯は無縁ではありません。現在、ラグビー日本代表には古賀市町川原出身の福岡堅樹選手（パナソニック）がおり、頑張っています。

県はW杯に向けた専門の担当部署を設け、機運醸成に全力で取り組んでいます。9月29日にはJR博多駅で本物のトロフィーも展示されました。私は、開催地が検討されていた2014年当時、県議会本会議で知事とやり取りし、知事が「強豪チーム同士の試合など特に注目の集まる試合の誘致」を実現するために積極的に取り組む姿勢を示した経緯もあります。

みんなで応援していきましょう！

## <田辺かずき プロフィール>

- 1980年 5月16日生まれ
  - 1987年 暁の星幼稚園 卒園
  - 1993年 花鶴小学校 卒業
  - 1996年 古賀中学校 卒業
  - 1999年 福岡県立福岡高校 卒業（高51回）
  - 2003年 慶應義塾大学法学部法律学科 卒業
  - 毎日新聞社 入社、福岡支局 配属
  - 2006年 大阪本社社会部 配属
  - 2011年 福岡県議会議員 初当選
  - 厚生労働環境委員会（～13年）
  - 国際交流推進対策調査特別委員会（～13年）
  - 2013年 新社会推進商工委員会（～15年）
  - 防災及びエネルギー・水安定供給調査特別委員会（～15年）
  - 2015年 福岡県議会議員 2期目当選
  - 広域行政推進対策調査特別委員会・副委員長（～17年）
- 【所属】福岡県議会・農林水産委員会  
同・スポーツ振興・国際交流推進調査特別委員会  
同・タイ友好議員連盟事務局長  
同・スポーツ議員連盟幹事  
福中・福高同窓会顧問  
古賀寛成館高校後援会名誉顧問
- 【家族】社員の妻、11歳の長男、8歳の長女  
古賀東小学校PTCA前会長（PTCA=PTA+地域のC）



パンサーン駐日大使と総領事館設置の喜びを分かち合う

私が事務局長を務める福岡県タイ友好議員連盟の議員外交の成果として、10月1日に福岡市内に総領事館が開設されました。大阪の総領事館に続き、国内2カ所目。これに先立ち、福岡

タイ政府は現在、製造業の高度化などを目指している「東部経済回廊（EEIC）」と名付けた経済特区で、投資・開発計画を促進しています。ソムキット副首相と会談した際も「福岡県内企業との交流促進を図りたい」との意向が示され

## タイの総領事館が福岡に開設！議員外交の成果

もっとも注力すべきもの」と考えたためです。農業への理解、食育への尊さへの理解を深めるため、食育では「体感」することが重要との認識のもと、その機会の創出、拡大を求めました。農業政策は、農業基盤整備や担い手育成・支援などの生産の支援はもちろん大切ですが、消費の視点も極めて重要で、これからは食育・地産地消の推進にしっかりと取り組んでいきます。

市内で記念イベントが開催され、私も参加しました。パンサーン駐日大使をはじめ関係者の皆さんと喜びを分かち合い、日本とタイのさらなる友好関係の深化に向けて決意を新たにしました。今年1月16日、タイ政府が総領事館を新たに福岡県に設置することを閣議決定しました。実現に向けては、パンサーン駐日大使と10年以上の交流を続けてきた福岡県議会が超党派で一丸となつて主導し、知事や県行政の皆さんとともに取り組んできた経緯があります。私もソムキット副首相やドーン外相など主要閣僚への働きかけや、これらを踏まえての県議会本会議での提案などを行うなど積極的に関わってきました。



記念イベントではタイの民俗舞踊も披露された



## 田辺かずき事務所からのお知らせ

### 【対話集会を開催】

私の政治活動は県民の皆さんの「声」があつてこそ。各地の公民館で対話集会を開催しており、ご連絡をいただければサークル活動などにも足を運び、活動報告と意見交換をさせていただきます。事務所（092-692-8510）まで。

対話集会を古賀市内の各地域で開催しています。県議会での私の質問と知事の答弁を踏まえ、私が考えるこれからのまちづくりの方向性や県と市が連携する重要性についてお伝えし、多くの皆さんからご意見やご要望をいただいています。お近くで開催の際はぜひご参加ください！

## 古賀市内各地で対話集会を開催中！

ました。経済や文化のさらなる交流促進を図るため、私も引き続き力を尽くしたいと思っています。